

会派政務調査活動（行政視察）報告書 （総括）

会 派 名	大地の会
会派の代表者名	鎌田 正 □
視察（調査）期日	平成27年10月30日（金）
視察（調査）先	群馬県高崎市「空き家緊急総合対策事業」
視察（調査）の目的 （大仙市の現状と 選定理由等）	大仙市においても大きな問題となっている空き家の対策として、主に倒壊等の恐れがある危険空き家の解体に主眼が置かれ「空き家等の適正管理に関する条例」が制定されているが、今後空き家になる恐れがある家屋も多数あり、条例に定められている解体費の補助の増大も懸念されている。そこで、解体のみならず、空き家の管理から活用まで総合的に空き家対策に取り組んでいる高崎市の事例を学ぶため。
視察（調査）の行程	別紙のとおり
視察（調査）への 参加議員名	鎌田正、武田隆、大山利吉、金谷道男、大野忠夫、本間輝男、高橋幸晴、石塚柏、佐藤郁男、秩父博樹、後藤健、千葉健（12名）
視察（調査）概要	<ul style="list-style-type: none"> ・群馬県高崎市「空き家緊急総合対策事業」 高崎市役所において、担当部署の職員の方より資料を基に説明を受けた。 ※調査の報告については別添個別報告参照。



<p>視察(調査)の成果と本市に反映できる事項或いは反映させたい事項について</p>	<p>※個別報告参照。</p>
<p>その他 (会派としての総合的意見、上記成果への今後の取り組み等)</p>	<p>大仙市においても倒壊等の恐れがある危険空き家の解体に主眼をおいて条例を制定し、空き家対策に取り組んでいるが、今後更に空き家が増えることも予想され、条例に定める解体の補助についても増大する恐れがある。そのような中、「危険空き家」とならないよう、「適正管理」や「活用」にまで支援を広げている高崎市における空き家対策は、非常に参考になったと感じている。</p> <p>今回の行政視察で学んだことを各議員が積極的に議会(議員)活動の参考にし、市当局に提案、若しくは学んだことを基に議論することで大仙市をより良い方向に導くことが我々議員に課せられた責務であることを肝に銘じて今後の活動に邁進して参りたい。</p>